



●株式会社ウォンツ

「面白く楽しく分かりやすいパソコン教室の革命児」をモットーに、設立3年で全国に60の教室をFC展開するまでに成長した。初心者向けのパソコン教則ビデオを自社制作し、それを中心とした運営システムを広げるやり方で注目を集めている。  
 鯖江市杉本町31-45 ☎0778-52-7880  
<http://www.wants.jp>

失敗体験を詳細に公開してくれたら、  
他の経営者にとつてすごく役に立つ。

「死」を遠ざける発想が、  
人生の価値観を歪めている。

今の日本で最大の問題は、多くの人が「死生観」を持っていないことだと思うんですよ。誰もが何となく、自分は永遠に生きるのだと勘違いしている。そのため人生に枠をはめられたような感覚が生じて、反作用として力やカネに頼った価値観を抱いてしまいがちな気がします。

これはいわば、死を知らないがゆえの「逆説的な悲しみ」でしょう。

私は時折、ふらりと火葬場をのぞきに行くことがあります。それは自ら「死」を身近に感じたいからです。「死」は決して避けられないものなのに、人目から遠ざけ、隠そうとするのは間違いだと思うんですよ。子どもたちにとって、「いつか君も必ず死ぬんだよ」とちゃんと教えてあげるべきです。

私よりも上の世代の経営者にお願したいのは、ビジネスにおける様々な事例をもっとオープンにしてほしいということです。とりわけ、失敗例を積極的に公開してもらえるとありがたいですね。

例えば会社を倒産させてしまった社長が、破局に至るまでの経過をこまかく記録して、包み隠さずホームページで情報公開してくれば、世の中の経営者にとってどれだけ役に立つかわかりません。

成功体験や教訓めいた話は世の中にあふれていますが、それよりも痛い思いをした体験の方が、後に続く者にとって参考になることが多いのではないのでしょうか。



ネット上の連絡だからこそ、  
ハートの部分が大事になり、  
それがあれば二層際立つ。

今の日本に必要なのは  
「フリーター制」。

今の日本には徴兵制はありませんが、私は現代の若者に必要なのはむしろ「フリーター制」だと思います。20代のうちに社会の底辺付近を体験しておけば、何も怖いものがないようになって、その後打たれ強くなるん

じゃないでしょうか。

一流大学から大企業に進むというエリートだという発想はもはや過去のものです。フリーターを社会に貢献しない非生産的な層と解釈する向きもあるでしょうが、私は一時バネを縮めて、自分にエネルギーを蓄えている状態だと思っています。

その間に、人生における幸福や楽しさを純粋に追求してみるのです。つまり「自分が一番燃えるものは何なのか」を探す時期にすれば良いと思うんですよ。もちろん、法に触れたり社会の秩序を乱すようなことをしない範囲のことですが、自分が真に楽しめるものを見つければ、多少の回り道は付き物でしょう。

私は、本当に値打ちのある人間とは、つまり自分自身を喜ばせることができる人だと考えています。

といっても、身勝手に「俺だけが楽しければそれでいい」という発想は大間違い。まず自分が本当に楽しいと思うことをやっていなければ、周囲に波及させるなどとても無理だという意味です。

人間は結局のところ一人では楽しくないんですよ。たとえ一人旅をしても、いつまでも残る楽しい思い出とは、やっぱり旅先で出会った人たちとのふれ合いだと思っております。

当社において、全国各地にいる教室オーナーさんたちは、私と「心のつながり」の上でびっぴりくる人しか入っていません。

オーナーさんたちとの普段のやりとりはインターネット上で行なっています。しかし、デジタルな形で連絡が付きさえすればそれでいいとは全く考えていません。大切なのは、オーナーさんたちの気持ちを思いやり、不安を感じさせない気配りです。

バーチャルなネット上のやりとりだからこそ、ハートが大事なのです。逆に言えば、ネット上でハートを感じさせれば一段と目立ちます。

私は自分の行動に自ら枠をはめる発想が嫌いです。好きなことを追求し、自分が楽しんだ上に皆を喜ばせることもできたら最高じゃないですか。その典型はミュージシャン。どうやら、私はいつまでもミュージシャン志向のようです(笑)。